

# 北魚沼 あぜ道情報

春を迎えた魚沼の里  
田植えに向けて動き出す  
昨年よりも更に良い米になりますように！

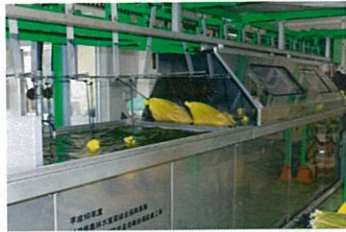
寒い冬を越えて、暖かい春がやってまいりました。全国各地では桜の開花予想や満開予想などがテレビや新聞で報道されています。3月の3連休に開花したという地域もありました。一方新潟は昨年よりも約6日遅い4月8日が開花予想となっており、魚沼地域においては4月下旬から桜の見頃とのことです。昨年よりは雪解けは早かったものの、気温が上がりなかつたんでしよつかね。



JA北魚沼の育苗センターで温湯消毒作業が3月12日から3月29日の期間で行われました。ところで、温湯消毒をご存じでしょうか。稲の種粉はカビや細菌に汚染されていることがあるので、種まき前の稲の種粉を熱湯に浸し、雑菌から守ります。そうすることで、稲を苦しめる様々な病気に対し、薬剤を使った場合と同じくらいか、それ以上の防除効果をもたらす。薬剤を使わずに種子消毒ができるというものです。これは環境への配慮だけではなく、「食の安心安全」にもつながっている大事な作業です。



温湯消毒が終わりますと、発芽を揃えるための準備でもある浸種作業が始まります。浸種が不十分だと出芽だけでなく、生育にも影響が出てしまいます。この作業が28年産米の運命を決めるといっても過言ではありません。



そして、今年も田植えに向けた春作業が始まります。雪が完全に消えた田んぼでは田打ちが行われ、田植えの準備開始です。この時期になりますと、JA北魚沼管内の各施設では、除雪作業を行い、育苗ハウスが建てられて、元気に出芽した苗たちをいつでも迎えられるように作業を行っています。今年もハウスの中で、育ち盛りの青々とした苗が育っている姿が見れるのももう間もなくです。

## お茶碗一杯は何粒の米で満たされていますか？

興味はあるが、一粒一粒数えるのは気が遠くなる話だな~と思うのが普通です。また、お茶碗一杯に入るお米の量は稲何株分になるんだらうという興味も湧いてきたりしますよね。そこで私、数えました……と言いたいところなのですが、今回は大変申し訳ございませんが、調べさせていただきました。まず、お茶碗一杯にはどのくらいの米粒が入っているのでしょうか。大人用の小ぶりなお茶碗一杯で約2300~2500粒、もう少し大きいお茶碗になりますと約3000~3500粒が盛られているとのことです。ちなみに、お米の単位は「升(しょう)」、「合(ごう)」、「キログラム」といったように表されますが、1升は約1.5キログラムで、1合は約150グラムになります。そして、お茶碗一杯には稲何株分のお米が入っているのか…気になるのですが、1株の稲には40本の穂がついていて、その1本の穂には約80粒の実がつくといわれています。ということは、1株には約3200粒の米粒が作られることになり、1株でお茶碗一杯分に相当する計算になります。次回は、私自身が普段食べている米粒の量を調べて、ご報告できればと思います。



## ~百菜花んの珍野菜~

## 百菜花ん情報



今回ご紹介するのは「ヤーコン」です。ヤーコンはキク科の根菜で、草丈は1.5メートルにもなり、地下の塊根(イモ)と塊茎を食用に利用します。食物繊維やミネラルを豊富に含んでいること合わせてダイエツト効果と美味を兼ね備えた健康根菜として脚光を浴びています。きんぴらにして食べるのと体にも良く、美味しです。

## 編集後記

4月に入りますと、お日様が顔を出す日増え、少しずつではありませんが、気温も上がってきます。しかし、今年は異様な気候で上着を着ないで出勤する日が例年よりも早かったように感じます。4月は心地よい暖かさに包まれる季節です。ほんわかとした気分になり過ぎず、更に気を引き締めて頑張らないといけません。そして、春は出会いと別れの季節です。JA北魚沼の当課でも異動があり、新体制になりました。その方々のご紹介は来月号以降から掲載させていただきます。

